



西林寺境内 満開の桜



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖のことば

いい人
いい雨
いい天気
みんな
自分中心



西林寺の沿革(その1)

西林寺の開創は、今から600年前、応永2(1395)年、真言宗の僧、靈巖(河野正勝)が諸国を行脚中に坂町にとどまり、お堂を建て、「塔半寺」と号したことに始まります。

仏教の宗派の内、広島に早く広まったのは真言宗です。それは真言宗の開祖、空海が中国で学んだ土木学を生かして、弘仁12(821)年、讃岐の満濃池を改修し、その功によりこの地に神野寺を創建し、中国・四国地方を行脚したことに由来します。以来、多くの真言宗の僧がこの地方を行脚して、自らの修行の場として、お堂を立てました。

左の鑄銅製の仏像が、西林寺に代々安置継承されてきた、靈巖が本尊としていただいた、大日如来像です。現存する創建時代に関わる唯一の什物で、坂町指定文化財です。

御正忌報恩講

1月15日(日)
昼席から17日(水)朝席まで、御正忌報恩講が修行されました。



おおたいや 大速夜席

静寂の中、親鸞聖人のご苦勞を偲ばせていただくことができました。この御正忌報恩講をご縁として、感謝する日々を過ごしていきたいものです。



「御伝鈔」ご拝読

この日は32年ぶりの記録的な大雪に見られました。お参詣の皆さまに、聴聞の間に温かい「ぜんざい」がふるまわれ、身も心もほっこりのひとときでした。



はなまつりのご案内



記録的な大雪

4月1日(土)13時より西林寺本堂で、お釈迦さまのお誕生日をお祝いする「はなまつり」を行います。ご住職のおはなしや、楽しい行事を行います。春休みです。ジュースとお菓子を用意しています。どなたでも参加して下さい。境内の桜も満開と思います。



法座・旅行案内

春季永代経法座

四月 十三日(木)昼席より
十六日(日)朝席まで
講師 三原市 大和町
浄楽寺 栗原一乗師

伝灯奉告法要団体参拝

四月二十六日(水)より
二十八日(金)まで
五月 十日(水)より
十一日(木)まで

宗祖降誕会

五月 二十日(土)昼席より
二十二日(月)朝席まで
講師 福岡県 行橋市
善照寺 高岡昭信師

編集後記

『西林寺だより』も第4号を迎え、1年刊行したことになります。これからも皆さまに親しんでいただける寺報になりますよう、編集委員一同精進してまいります。お気軽にご意見、ご感想をお寄せください。



「おみがき」とは、お寺の本堂、内陣の真鍮製の仏具の汚れを取り除き、みがき上げることを言います。年2回、御正忌(親鸞聖人の祥月命日)とお盆のご法座前に行います。



今年も、1月13日(金) 仏教婦人会・仏教壮年会合同で、法務員の皆さまにご指導いただきながら、本堂内陣仏具のおみがきと本堂内外の清掃奉仕を行いました。

仏教婦人会 あれこれ

御正忌前のおみがき

聞思録(もんしりく)

境内の桜が咲きました。今年も満開の桜が目を楽しませてくれることでしょう。雨が降らないようにと願いますが、春は雨がよく降り、その雨で桜の花びらが振り落とされ、散ってしまふことが多いように思います。しかし、よく調べてみると、春は他の季節に比べて、決して降雨の頻度が高いわけではないようです。桜の花を少しでも長く愛でていたいという「思い」が、雨がよく降ると感じさせるのでしょうか。

毎年、春は訪れます。しかし、春になれば満開の桜を楽しめることも「当たり前」なのでしょう。私が無常のいのちの今をいただき、それが「有難い」事実であるならば、満開の桜を楽しめることも決して「当たり前」ではなく「有難い」事実です。

私たちは、それがどんなに「有難い」ことであっても、自分の思いにとらわれて、自分の思いの中で習慣化したものは「当たり前」に感じてしまいます。たとえば、隣の家の方が、豪華な夕食を作って持ってきてくださったとします。「まあ、申し訳ない。ありがとうございます。」と「申し訳ない。ありがとうございます。」と

いう気持ちよりも、「今日は何をもって来てくださるだろうか。」とか「昨日の料理は量が少なかった」「ちよつと薄味すぎる」とか、夕食をいただくことが「当たり前」に感じられるようになります。自己中心的なとらわれの思いが、自分の都合に合わせてものを判断をしますから、「有難い」が「当たり前」になり、そこから新たな「当たり前」の立場のものが見方が生まれます。

桜も年中咲いていれば、または散ってもすぐに咲くのであれば、違った思いをもつことでしょうか。雨も同様に、水不足の時や雨が降ることでも自分の都合がよい時は「有難い」雨です。桜が咲いている時や自分が外出する時の雨は、都合の悪い雨でしょう。雨そのものに「良い悪い」があるわけではありません。表題の「いい人 いい雨 いい天気 みんな自分中心」をよくよく味わいたいものです。雨に限らず、私を取りまく現象そのものには「良い悪い」はありません。とらわれの思いが、自分の都合に合わせて判断をします。しかし、都合の悪いと思っていたことが自分の心を育て、いただいたご恩に気付く縁となるところにいのちの深さ(人生の神髄)があります。「過去はやり直すことはできないが、見直すことはできる」といわれる所以です。仏法に出遇う意味がここにあるのです。

ダーナ募金報告



今年も1月に募金活動を行い、皆さまから、26万8千円の心のこもった浄財をダーナ募金としてご寄付いただきました。この募金は安芸北組仏教婦人会連盟と

坂町ワイワイハウスや坂町社会福祉協議会に、寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。

仏教婦人会行事予定

- 一、総会・追弔法要(西林寺本堂) 四月十九日(水) 13時から
 - 二、降誕会祝賀アトラクション 五月二十一日・昼席の後
 - 三、西林寺一日研修(周防大島方面) 六月(未定)
- みなさまのご参加をお願いいたします。

広島別院親鸞聖人御命日法要

2月15日(水) 16日(木)、ご講師として西林寺ご住職が出席されました。両日とも大変寒い中にもかかわらず、多くの聴聞者が御縁いただきました。

西林寺法務員紹介

住職を補佐して、仏教のみ教えを弘め、法事などの法要儀式を執行する役職を、「役僧さん」とか「伴僧さん」と呼んでいます。正式には「法務員」と呼称します。現在4人の法務員の方にお手伝いいただいていますので、ここに紹介します。



木村 斉明師 昭和39年生 法名 釋 齊明 平成11年得度	幸野 輝彦師 昭和21年生 法名 釋 顕正 平成15年得度	長田 付師 昭和18年生 法名 釋 得法 平成17年得度	國弘 雅夫師 昭和25年生 法名 釋 応観 平成25年得度
--	--	---------------------------------------	--

また、一昨年までは榎尾繁則師もお手伝いいただいでいました。

仏教壮年会 あれこれ

安芸北組 研修会

3月10日(金) 随泉寺(安芸区中野東)において、毎年行われている安芸北組仏教壮年会連絡協議会の一研修会が行われました。ご講師は、高善寺(島根県邑南町) 副住職 武田正文師(臨床心理士)で、講題は「心と向き合う浄土真宗」でした。西林寺仏壮会から12名参加しました。

仏教壮年会行事予定

- 一、総会・懇親会 四月一日(土) 15時から
西林寺門信徒会館・境内
境内の満開の桜は最高です
ご参加ください。
 - 二、松の木 剪定 六月(未定)
- 仏教壮年会に入会お待ちしております。

ご寄付のおしらせ

門信徒会館の御仏間に、木製机13台と木製椅子24脚をご寄付いただきました。ここに深甚の謝意を表します。

住職在職三十年記念式報告

1月28日(土) 西

林寺本堂にて正原
弥生さん司会のも
と、住職在職30年
記念式が執り行わ
れました。約110名
の方々が参詣され、
お勤めの後、実行
委員会の奥絼太郎
委員長のあいさつ



西林寺本堂記念式会場

と、西林寺門徒総代会顧問(前総代長)の
岡田周三氏の祝辞があり、縫部貢副委員長
から住職に、門徒約600名からいただいた記
念品(夏用衣体一式と書画一幅)の目録が



記念品の五条袈裟・認定書・目録・表彰状

授与されま
した。住職
のごあいさ
つは、30年
前の就任当
初の状況や
心境から、
今日までの
いろいろな
思い出を含
めたお話し
でした。



岡田周三総代会顧問祝辞



奥絼太郎実行委員長あいさつ



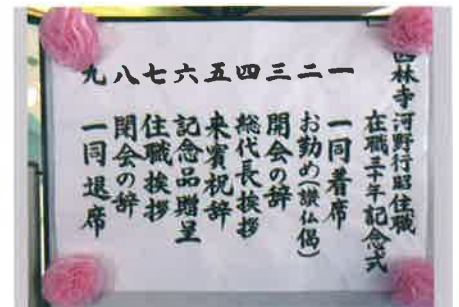
ご住職お礼のごあいさつ



縫部貢副委員長から記念品目録授与



全員で「讃仏偈」のお勤め



記念式 次第



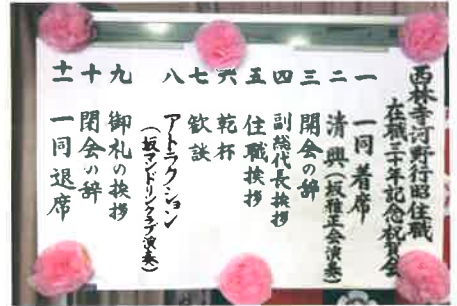
住職在職三十年祝賀会報告

記念式に引き続き
門信徒会館での祝賀
会には、約100名の皆
さまの参加がありま
した。最初に清興と
して坂雅正会の雅楽
演奏がありました。
二井矢信司副委員長



坂雅正会 雅楽演奏

お祝いに参加して
いただいた坂マンドリ
ンクラブの懐かしい
曲に、参加者全員、
時間を忘れ楽しいひ
とときを過ごし、最
後に奥紡太郎委員長
のお礼のごあいさつ
で閉会となりました。



記念祝賀会 次第

のあいさつに続き、
住職のあいさつの
後、大廻邦雄副委
員長の音頭で乾杯
して歓談しました。
仏教婦人会の皆さ
まにご給仕いただ
きました。



坂マンドリンクラブ 演奏



大廻邦雄副委員長 乾杯音頭



ご住職 ごあいさつ



二井矢信司副委員長あいさつ

